



表紙の写真
「夏の夜空を彩る花火」

西八代郡市川大門町は、江戸時代より花火作りが盛んに行われた。甲斐の市川、三河の吉田、常陸(茨城県)の水戸を日本の三大花火と呼んでいる。市川大門町の花火は、江戸の元禄年間から栄え始め、「神明の花火」として現在も町の夏の風物詩となっている。

明治になると、東京遷都記念の全国花火大会の天幕の会場で、16升の菊花を打ち上げて全国的に市川花火の名を有名にしたという。花火には、打ち上げ花火、仕掛け花火、おもちゃ花火の三種類があり、大小さまざまそれに夏を飾る。

現在、市川大門町では打ち上げ花火を主に、8社の花火工場が花火を生産している。大きなものになると三十号玉で、直径1メートル、重さ250キロにもなるという。上の写真は、出来上がった花火の日干し作業である。

(写真と文：森田圭吾)

「MUH」vol.5 1995.7.1

企画／早野グループ「MUH」編集室

深沢達・矢田道生・杉平清雄・久保田光一

編集／株式会社ニュースメディア甲府

三浦弘・三井義男・五味剛・清水広子・石原由里子・高山ひとみ・桑本美佐穂

日本工業経済新聞社

印刷／有隣会社オズプリント

誌名の「MUH」は、早野組の社訓である「和」を託した
Mate(仲間)、Union(結束)、Harmony(調和)の頭文字
からとりました。幻の大賀のロマンを目指します。

フォーラム	
テーマ 風呂(ふろ) 江宮隆之・古屋久昭・岩崎正吾・佐藤眞佐美	2
特集	
山梨21 斎木慶彦 氏(青木煙火本店代表取締役)	4
ホスト 早野瀬	
両国で披露した職人芸 日本三大花火の心意氣	
世界に誇る日本の花火 原点は「飛脚かがり火軍法」	
データ 日本の花火の種類・打ち上げ方・構造 etc...	
トピックス	
円高の行方と仕組み	10
企業ウォッチング	
ホテル湯王温泉 橋本光一 氏	13
サークル訪問	
甲府万葉をあるく会	14
インフォメーション	
早野組・トヨタビースタ山梨・トヨタホーム山梨・甲府通運	16
ようこそ歴史	
御岳新道を開いた長田円右衛門 上野晴朗	18
アートへのまなざし	
名画に描かれた動物たち4 山本育夫	20
トレンード	
消費者金融	22
BOOK こんなところに山梨… BOOKコーナー 大阪弁の世界	23
リレーエッセイ	
神遂の里 牛山初美	24
近代陸上運送の歴史をさぐる(5) 林陽一郎	25
ユーザー訪問	
Kitz Meadows ハイランドパーク	26
お家探見	
深沢靖夫さん(玉穂町)	27
インフォメーション	
トヨタビースタ山梨・トヨタホーム山梨	28
ときのひと・FACE	
座談会・早野グループから甲府JCへ参加	29
おしゃれ さとしや / たべる 竹若	30
甲州の野邊にて①	
作物のぬくもり 堀慎吉	31
コラム	
某月某日	32

風呂で気付くこと

江宮隆之

現代では、風呂も湯も同じ意味で使っているが、江戸時代は違った。厳密に使い分けていたのである。どういうことかと言うと、江戸に最初に出来たのは、風呂屋。これは蒸し風呂でいわばサウナだった。蒸氣で体を蒸し、湯女が竹べらで垢を搔き落してくれたというものだ。もちろん男も女もOK。ただし男は風呂褲、女は湯文字を腰に巻いて入った。この風呂屋さん、天正19年(1591)つまり徳川家康が江戸に入った翌年、日本史の重要な事項で説明すれば、秀吉の朝鮮侵略の年に早くも江戸の町に登場していたのである。

さて風呂屋は宝永の頃まで続いた。その後に今のような裸で入る「湯」になったという。風呂と湯の違いである。ところでこの「湯」のことを、「ゆ」と呼ぶのは野暮の骨頭。江戸っ子は「ゆう」と伸ばした発音をした。これは今の東京っ子にも受け継がれているらしい。「湯屋」とかいて「ゆうや」と発音するのだ。

面白いのは、現代でも地方から出てきた人が「風呂屋へ行く」などと言ったものなら「あの田舎もんが」と、陰口を叩かれることは必定。気をつけたほうがよいらしい。

「泥浴」のことは「入れ込み」と呼んだが、かなり当たり前のことであった。「湯屋」には町人の娘も、武士の娘も(当然、町人も武士も)やってきた。というのは江戸の事情が内湯を持てる状態ではなかったからだ。火事が多く、井戸が少ないという事情である。

泥浴では脱衣所も一緒だから、男たちはさぞ目の保養をしたり、というのは正しい。で、女性が使ったのが風呂敷。文字通り、風呂で敷いて着物を包んでおいたからこの名が付いたのである。

さてそこで、川柳の「人同じからずと湯屋で合点し」。形の大小、色の濃い薄い、まあ似ていても同じものがないことを、風呂屋もしくは湯屋に行って、初めて気付く。そんな意味だが、ほら、誰にも覚えはあるでしょうが。

■1948年増穂町生まれ 山梨日日新聞社記者などを経て 現在も同社勤務 「経済記」で第13回歴史文学賞を受賞 著書に「凍てる指」「山梨人物博物館」など 近著の「白猫の人」は日本と韓国同時発売 第8回中村星湖文学賞受賞 今年の青少年読書感想文全国コンクールの課題図書に選定

ドラム缶風呂から朝シャンまで

古屋久昭

今でこそどこの家でも立派な風呂をお持ちだが、私の子どもの頃はドラム缶の風呂だった。それも家の中にあるのではなく、裏庭のようなところにあった。風呂の周りをムシロで囲って道行く人から見られないようにする程度のもので、それでも当時はそれが普通の風呂風物だった。

ドラム缶の風呂に入るときには、底板を上手に足で押さえて底に沈めてから入らねばならなかった。冬は北風が肌を刺し、逆に夏は星空を仰ぎながら風呂に漬かったものである。

ちょうどその頃だったか、石和のぶどう畠に突然四十度の湯が噴き出して大騒ぎになった。私の家から石和までは自転車でわずか十分ぐらいだったから、もの珍しさに仲間たちを誘って見に行つた。裸の大人たちがパンツ一枚で湯煙りのあがる畠や川にワンサといた。もちろん混浴である。さすがに年頃の女性はいなかった。

私も仲間たちと身体を躍らせて湯の川に入っていた。腰のあたりがむずむずした。パンツの中が砂だらけになってしまい、履き換えもしないで家に帰って母に叱られた。

その後近所に住む親戚の家で釜の風呂を入れた。今でいうバスルームである。その風呂には三日に一度入れてもらった。父、母、私という順で入った。脱衣所では母の黒いところが目に飛びこんできた。ヘアである。このときはショックとは違う何か異様なものを見てしまったあと味の悪さだけが残った。

それから数年経つてから私の家でもやっと風呂釜を入れた。しかし、その頃はまだ木切れを燃やして湯を沸かしたものだった。

風呂焚きは私の役目だった。目をこすりながら吹き竹で火を起こす。あるとき風呂に水を入れずにガシガシ燃して、父から大玉を喰らってしまった。マンガ本に夢中になっていて、水のことなどすっかり忘れていたのである。

それにしても風呂も変遷したものである。今では木を燃やすなんて珍しい。ガス・電気・灯油での自動沸かし、果てはソーラーシステム。また夕方から夜中にかけての長時間が家族の風呂タイム。朝シャン、昼シャン、夜シャン、夜中シャンまである。こんなに贅沢になっていいものなのか、などと疑つてみたくなる昨今である。

■1943年御坂町生まれ 日本現代詩人会会員

ハハ、いい湯だな

岩崎正吾

歳とともに好きになったのは、日本ソバ、演歌。それに風呂である。子供の時は、風呂嫌いだった。着ているものを脱ぎ、また着るなんて面倒だと言って、不精な子だと周囲の大人に呆れられたものである。20代で山梨に帰ってきて、真っ先に実行したのは県内の温泉めぐりだった。日本ソバや演歌よりも、「転向」した時期はずっと早い。

3年ほど前、八丈島に行きホテルの海を見下ろす露天風呂に入っていた。昼日中で、広い湯船の中にはわたし一人しかいなかつた。まさに、この世にいて極楽を味わう気分である。

すると突然、笑いざめく声がし、隣の風呂に大勢の女性が入ってきた。話の内容からして、東京の女子大生のグループのようである。男女に別れているといつても、真ん中の仕切りはスダレのようなものだけだった。急に胸が高鳴ってきた。隣にオジさんがいることに、気がつかないんじゃないかな……。

しばらくしてから、さりげなく首を回すふりをして隙間だらけの仕切りを見る。スダレ越しに、赤や黄色の派手な色彩が動いているのが見えた。何じゃ、これは、と思わず目を凝らした。何と隣の女子大生たちは水着を着ていた。

当箇は、水着で風呂に入るのか。しかし隣に中年の覗き男がいるんだから、それも仕方ないかと妙に感心した。

眼下に、雄大な海が広がっている。空と海との境界が溶け込み、一面の青い世界に船の帆が白く輝いていた。私は素晴らしい景色を堪能してから、湯船を出て脱衣所に向かおうとした。

そのとたん、背後でいっせいに若い女たちが叫んだのである。「見えた！」

拍手、歓声……。わたしは驚きのあまり、脱衣所の手前でつんのめりそうになった。何というオンナどもだ……。

風呂好き、温泉好きには、それらをめぐるエピソードはたくさんある。

■1944年甲府生まれ 地方出版社「山梨ふるさと文庫」を設立「横濱正史殺人事件あるいは悪魔の子守歌」でミステリー作家としてデビュー「闇かがやく島へ」で角川ミステリー・コンペ グランプリ受賞 近作「異説本能寺・信長殺すべし」(講談社)

悔れぬ商魂

佐藤真佐美

高校時代の寮で、通称ヨカレンという男と同室になった。彼は16歳で海軍予科練習生に志願し、外地で数年苦労したあと入学してきたのである。25歳であった。この学校は男子専科だが、その気になればガールフレンドをみつける手立てはあった。ミッションスクールなので、教派はみな日曜日に教会へ行く。そこにはYMCAのセーラー服がたむろしていたのだが、「鬼畜米英の神さんなんか抨めるか」と、ヨカレンはかたくなだった。

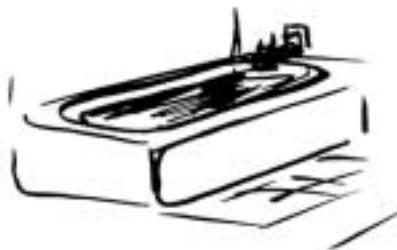
その夏、学校の一部を改造することになり、アメリカのYMCAの女子高生がワークキャンプに来ることになった。寮の来客室に一週間は滞在するという。「よし、今週はおれが風呂当番をやる」と、突然ヨカレンが宣言した。寮にはいろんな当番があるが、これだけはみな嫌がった。200人が入る巨大なもので、その清掃は時間がかかる。彼は入学以来一度もやったことがない。

いよいよ当日、ホースで水をまきながらデッキブラシで風呂の床をこすっていると、縮れ毛が枕をつくれるほどたまつた。己の一部だけが気味が悪い。それを見てヨカレンがぼくらに命じた。「連中が入ったあと、いったん掃除するから、鍵をかけろ」

ホルスタインのような胸と尻を、腿引のようなズボン、パンツが見えるようなミニスカートなどに包み、金髪、茶色、黒の縮れ毛をませて、5人のビチビチギャルがやってきた。「うーっ、鬼畜米英を犯せーっ」一目見てヨカレンは、股ぐらを押されて便所へかけこんだ。ぼくらも後に続いた。

夕食後、まず客に風呂へ入ってもらうことになった。ぼくらは予め窓に細工をし、ただで船のストリップを鑑賞しようと暗がりに潜んだ。ヨカレンが当番を希望した眼目であったのだが、寮監が事前に点検してこの目論見は徒勞に帰した。が、寮監もその後までは見抜けない。彼女らが出るとすぐ鍵をかけ掃除した。その夜ぼくらは、金髪の縮れ毛を一本十円、茶色は八円、黒は五円で売って歩いた。足りなくなるとヨカレンは自分のを引き抜き追加した。結構な商売になったのだから、彼の商魂は悔れない。

■1939年北海道生まれ 日本児童文学研究会・日本児童文学研究会員 著書に「怪奇！大東京妖怪ゾーン」(ポプラ社)「文ちゃんのはるかな知床」(北海道新聞社)近著に「栄光ふたたび—山梨学院大学総括伝物語II」(山梨ふるさと文庫)など



はじまりは「信玄公のノロシ」とも
市川大門・江戸の夢「神明の花火」
伝統技術を育むふるさとの活力

ゲスト

さいき よしひこ
齊木 慶彦氏
齊木煙火本店代表取締役

ホスト

はやの きよし
早野潔
早野組社長

和紙と花火の結びつき 番傘を打ち上げる趣向も

早野 いよいよ夏本番、花火の季節です。市川大門の「神明の花火」は、8月7日が恒例ですね。年毎に盛大となって、全国に市川大門の名をとどろかせています。「神明の花火」は、すでに江戸のころから盛んだったようですね。

齊木 はい。元様から享保の時分にはじまつたとい伝えられています。1700年前後と考えてよいでしょうか。もともと市川大門は祭り好きな土地柄で、「市川の百祭り」と呼ばれて知られていました。祭りに花火は欠かせません。こうした祭り好きで活気のある住民の気風が、花火の伝統を支えてきたのだと想像できます。

早野 市川大門は、これまた和紙の産地としての伝統があります。花火と製紙との関係というのはいかがですか。

齊木 そもそも「神明の花火」というのは、和紙漉きに大きな貢献をした市川甚左衛門という方の遺徳をあがめることからはじめました。神明社に石碑を建て、その命日に花火を上げたことが起源です。

また、花火を作るためには良質の和紙が欠かせませんで、和紙の産地であることが、花火の技術向上を促してきたのだと思われます。

早野 江戸期の祭り、そして当時の花火というのはどんなものだったのでしょうね。興味の尽きないところです。

齊木 その頃の花火は、昼は町内で上げ、夜は川原で上げたようです。「昼花火三百五十本、夜花火は五百本余」という記録が残っています。

花火には二つの分野があって、光と音を楽しむご存知の夜花火と、煙や音を楽しむ昼花火があります。昼花火はあまり知られてはいませんが、風の動きに多彩な煙の色や模様を描くもので、提灯や、ダルマなどを打

■齊木 慶彦

1939年市川大門町生まれ
齊木煙火本店代表取締役
〒409-36西六代郡市川大門町74

ち上げたりしました。

江戸期にはこの昼花火も盛んで、番傘を打ち上げ、空で開いて、ふんわり浮かせるといったこともしたそうです。いまでも語り草となっています。

早野 それはすごい芸ですねえ。凝ってますねえ。

齊木 祭典では、山車が町内を廻り、歌舞伎や相撲も行われて、それは盛大だったようです。

早野 製紙業は伝統を受け継いで繁栄し、そして、その由来を賛えることからはじめた「神明の花火」は、やがて、三州・吉田、常陸・水戸と並ぶ、日本三大花火の産地へと発展していったわけですね。

両国で披露した職人芸 日本三大花火の心意気

早野 花火の技術はどこで学んだのでしょうか。

齊木 江戸時代、市川大門の製紙は評判で、繁盛しました。江戸へ紙を納めに行く機会も多かったと思います。そこで江戸の一級の花火を見て来るわけですねえ。これが刺激となるなかを、ついに、黒玉になって川へ落ちてしまいました。



齊木 慶彦氏

町は景気も良かったですから、「神明の花火」も江戸に負けないものを、という機運が盛り上りました。こうして市川の花火は、規模も技術も向上していったわけですね。

早野 製紙業の自信が、町に誇りと活気を与えて、ふるさと意識を強いものにしていったのでしょうね。

齊木 面白いエピソードも残っていますよ。「神明の花火」の成果を江戸で試してみようと、隅田川の両国の花火大会に参加させてもらったそうです。ところが、打ち上げたものの開かない。大勢の観衆が詰めかかるなかを、ついに、黒玉になって川へ落ちてしまいました。

ところがです。落ちた所から、金魚になって泳ぎ出したそうです。巧妙なカラクリだったわけですねえ。

早野 それは大喝采だったでしょうねえ。それは愉快だ。

意気盛んな甲州人気質は、その後、海外に出て自分たちの真価を問おうということで、快挙も成し遂げましたよね。齊木さんのご先代は、シアトルで花火を上げ、アメリカの観衆を沸かせました。

齊木 自由の女神や星条旗、ナイガラの滝などを披露したと聞いております。

早野 またまた、市川大門の花火の名を内外に示しましたよね。



**世界に誇る日本の花火
原点は「飛脚かがり火軍法」**

早野 近代花火は「神明の花火」から華々しくはじまっていたわけですが、さらにその原点を探るとすれば、何処に、何に求めたらいいのでしょうか。

齊木 武田信玄公の時代の「ノロシ」だといわれています。

「ノロシ」はその頃の通信手段で、市川大門にも「ノロシ台」が残っています。甲斐は四方を山に囲まれていますが、この閉鎖された立地条件の中で、諸国情報を探し得る役割を果たしていたのが「ノロシ」でした。当時は「飛脚かがり火軍法」と呼ばれていたそうです。

早野 なるほど、光通信による情報ネットワークというわけですね。各地に設けた「ノロシ台」を経由して、峠も谷もない空を、またたく間に情報が行き通ったのですね。

「ノロシ」の原料はどんなものだったのですか。

齊木 「ノロシ」は「狼煙」とも書くくらいで、狼の糞を乾燥させ、木の葉などと混ぜるなどして利用し



たようです。狼などの動物の糞は、

やがて変質して白くなります。それが硝石なんですね。やがては鉄砲の伝来で、火薬作りに必要な硝石も輸入されることになったわけです。

早野 その武田信玄公の時代の「ノロシ」から、技術革新の歴史が繰り広げられていったのですねえ。

齊木 花火の起源はギリシャとも中国ともいわれていますし、また、通

信用、鑑賞用と、用途もさまざまですが、花火をここまで面白く、楽しむようにしたのは、日本だけではな

いでしょうか。

花火の形態は球形ですが、これは日本固有のものです。空気の抵抗を少なくするとともに、その球体のなかに、創意ある細工や工夫がこらされています。どの角度から眺めても丸く、そして花のように幾重にも、しかも彩りを変えて開いていく花火というには、まさに日本独自のものです。

また、ぱっと開いて、ぱっと散っていくという手法も、それから音にまで神経をつかって工夫されている

花火というのも、日本の花火の特徴です。

早野 日本人の美意識は古典芸能などが伝えるところですが、花火もまた、日本人の情感や価値観をよく反映していますよね。

齊木 日本の花火は、銀、橙、黄、紅、緑、青、紫など、無限に色を組み合わせることができます。そして大きく聞くこととともに、「消えぎわ」の美しさというのを重んじます。この精巧な花火を作るためには、熟練の技と、なによりも、薄くて丈夫

な和紙が必要です。

早野 まさに、花火は日本の夏の風物詩、そして、和紙の産地市川大門ならではの特産品ですね。

**「黙って十年」の修業
花火にかける3代目の夢**

早野 齊木さんは三代目であると伺っておりますが、花火に关心を寄せられたのはお幾つの頃でしたか。

齊木 本来、花火の仕事は18才になりませんと許可されないのですが、打ち明けますと、その以前から手伝

いの真似事みたいなことをしていました。

両国の花火大会にも、少年の時分に出掛けました。親父に見つかると叱られますから、夕飯を早く済まして、当時は木炭車でしたが、トラックに潜り込んで隠れているわけです。両国へ行くのには、前の晩の8時頃出発する長い道中ですが、車が笛子峠を越えた頃、もう安心と顔を出すわけです。

笛子峠を越えたら、もう帰れませんから、しぶしぶでも連れて行ってもらえるわけです。

早野 心意気が違いますね。代々伝わる秘伝というふうなものはありますか。一人前になるのには、どのくらいの修業が必要なのでしょう。

齊木 まあ、見よう見まねの伝承の世界ですから、おのずとその家の作り方という伝統があります。たとえば薬の配合という意味では科学と似ているところもありますが、しかし、同じ配合でも、同じ色には決してなりません。そこに技術があるわけです。

取り扱いや安全面では、かなり厳

しくしつけられて、「落すな、濡らすな、引き摺るな」とよく言われたものです。手を抜かず、いつも気配りをして作業に励めという意味です。花火は危険ですからね。

修業ということについては、この道は「黙って十年」といわれています。技術というものは隠せませんし、「ごまかしのきかないものです。打ち上げたら、何でも見えてしまいます。

早野 「黙って」というところが意味深いですね。

齊木 しかし、お陰様で若い人達の志望は増えてきているのです。自分でモノを作り上げたいということに熱心な人達です。

早野 それは期待がもてますよね。張り合いがありますねえ。

「火の芸術」への誘い 花火をもっと楽しむために

早野 市川大門の花火を、今後産業面でも大いに躍進させていくためには、どんな課題があるのでしょう。齊木さんの夢は、いかがでしょう。

齊木 花火の工業団地を作りたいというのが、かねてからの念願です。業界の交流を深め、また、後継者が

存分に技術を学べ、新しい発想で次の時代の花火を創造していくにふさわしい環境づくりです。

早野 山梨における業者さんというのは何社ぐらいあるのですか。また、生産に携わっている方は何人ぐらいいらっしゃるのでしょうか。

齊木 およそ13社、500人ぐらいじゃないでしょうか。

早野 工業団地を設けるとすると、どれくらいのスペースが必要なんですか。

齊木 1万坪以上にはなるのではないかでしょうか。

早野 これが実現すれば、山梨にまたひとつ名物が誕生しますね。大いに期待したいところです。

齊木 花火にも、コンピュータが導入される時代です。また、花火の演出にしても、音楽と組み合わせなど、新しいイメージをふくらませ、斬新な手法も採用されるようになります。ぜひ、新しい時代にふさわしい環境をと、切に願っているところです。

早野 花火も、創造と芸術の領域ですものね。

さて、夏本番、「神明の花火」が待

たれるところですが、花火をもっと楽しむための知恵を授けてもらえないか。

齊木 そうですね、花火見物は、あまり近い場所でもいけませんですね。角度にしたら、ちょうど45度よりもちょっと離れたぐらいがよろしいでしょうか。できたら、風上からご覧になるのがいいでしょう。煙の中に花火が出ると色が悪くなってしまいます。

それから、花火の種類や構造の知識を少しもっていただくと、数倍楽しめます。花火の妙技が理解できれば、花火を上げる側もやり甲斐がありますね。

花火大会では、観衆の皆さんに花火をよく理解して、存分に味わっていただくために、「花火アラカルト」というものを企画し、解説をさせていただいている。

こちらにもご注目をいただけます。ぜひ、花火の「通」になってください。

【構成：三神 弘】

■日本の花火の特色■

日本の花火は、世界一精巧で、華麗。幾多の歴史を経た「火の芸術」だ。

1. 真ん丸く、空に大きな、七色の花を広げる。
2. 花びらのひとつひとつの色が変わる。
3. ひとつの円でなく、花の芯のように、二重三重の円を描く。

■花火の分類■

光と音を目的とする「夜花火」と、煙と音を目的とする「昼花火」がある。用途別では、信号用と、鑑賞用に大別できる。

■花火の種類■

花火の種類は、打ち上げ花火、仕掛け花火、おもちゃ花火の三つに分けることができるが、細かな技法によって、その魅力はさまざまである。

たとえば、打ち上げ花火でも、「菊」は、火の粉が尾を引きながら花が球形に現れるところが見どころ。

また「牡丹」は、火の粉が尾を引かず、花が丸く現れる技法。

「柳」は、星が群れをなし、尾を引いて下に垂れ、「雨」は、尾を引かないで、星が流れる、という技法だ。

仕掛け花火は、おもに木枠などで字や風景の形を組み立て、それに各種の発火剤などを配置するもの。導火線に火をつけると、全体に火が移り、火文字などを描いていく。

■花火の構造■

花火は、割物、ボカ物、小割物の構造に分類できる。

割物は、中央に納めた割火薬の爆力と、周囲を丈夫な紙で貼り固めた外皮の強度や張りとのバランスで、花火を真ん丸く、大きく開かせる構造。

ボカ物は、上空で球体の玉がボカっと二つに割れ、内容物を放出する構造。

小割物は、割物とボカ物の中間の構造で、上空で玉は四分五裂して、内容物を散布する。千輪物とも呼ばれる。



割物の構造



ボカ物の構造



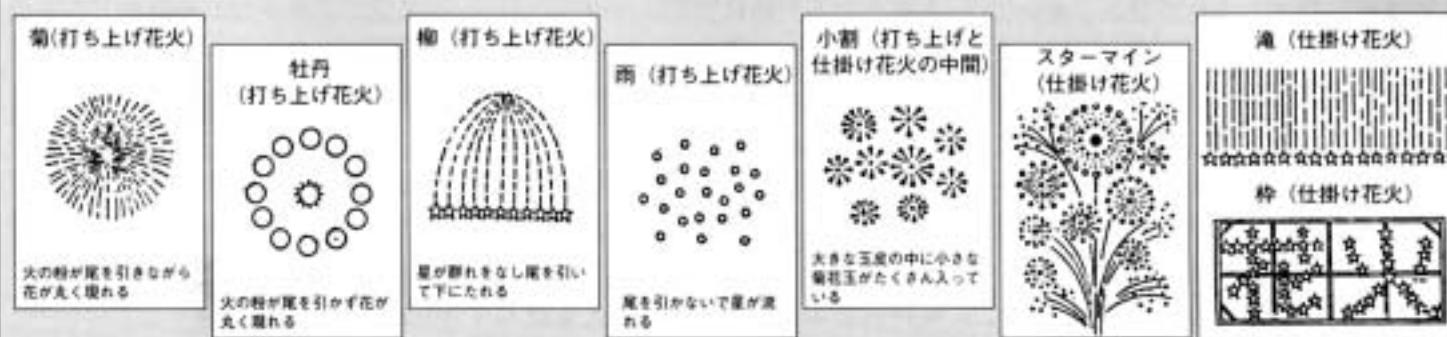
千輪物の構造

■打ち上げ方のいろいろ■

花火の種類、魅力にふさわしく、リズム、テンポが工夫され、花火の打ち上げ方もいろいろだ。

1. 「単打」は、信号煙火や、特に7寸以上の大玉などの場合の打ち方。
2. 「早打ち」は、ひとつの筒で、数十玉を連続打ちする。
3. 「連發」は、数十、数百の筒を並べ、導火線で短い間隔の差をとりつつ、一度に打ち上げるもっとも豪華な手法。また、電気点火で、遠くから、数ヶ所の花火を同時に打ち上げることもできる。

花火の種類



必然の中で生じた1\$=¥70時代
そして日本経済はどうなるのか……

円高の行方と仕組み

「協調介入といった古い手法はもう通用しない。貨幣交換というシステム自体が暴走しているとしか思えない」。これは某中堅証券会社のアナリストの弁。

今年に入って、世相を騒がす歴史的な事件が頻発する日本。地震、カルト、そして今回の円高。歴史的といふべきか、ニクソンショック（1971年、円レートが変動相場制に移行した出来事）以来、3ヶタを堅持していた円がついに100円を割り込んだ（1995年3月）。

今回のトピックスは一見無関係のようでいて実は身近な問題である円にスポットをあてた。

円高理解のためのキーワード

まず、以下の事柄を念頭に置いていただきたい。「基軸通貨」、「レガノミックス」、「プラザ合意」。

基軸通貨。これは言うまでもなく世界貿易などの決済に使われるドルの事を指す。貨幣の根本理念である金（ゴールド）と兌換できる貨幣をいう。俗に固定相場制といって金とドルが交換できる世界経済のシステ

ム。アメリカに貿易などで獲得したドルを持って行けば、金と交換してもらえた。1ドル=360円と言われた時代（1971年のニクソンショックまで）の体制。ちなみにニクソンショックとは、固定相場制を中止して、為替レートを市場のメカニズムで決定することを決めたもの。

レガノミックスというのは、強いアメリカを標榜したレーガン政権の経済政策のこと。企業、個人への減税と、軍事支出の増大による積極財政、金融の引き締めによるインフレ抑制などを進めた。これによってアメリカ経済は、財政赤字と高金利によるドル高による「双子の赤字」を抱え、アメリカ経済の長期低迷を招く要因となる。

この「双子の赤字」によるドル高を是正するために、ニューヨークのプラザホテルに主要5か国の蔵相ら

が集まって、国際的な為替の調整を目指したもののが、世に言うプラザ合意と呼ばれるものだ。当時の為替レートは1ドル=240円、それが一挙に170円まで円が急騰し、この当時も円高によって、輸出関連産業が大打撃を受けた。

円高・ドル安は止まらない

おさらいはこれくらいにして、それでは今回の円高はどういうことなのか。

「今回は円高というよりもむしろ、基軸通貨としてのドル神話の崩壊、ドルの弱化と言つていい」前述の証券アナリストの某氏。彼の言う理由はこうだ。

「本来、円高になるということは、日本経済が順調に成長しているという証拠。しかし、ファンダメンタルズ（経済の基本要件）を見る限り、先の地震による貿易収支の悪化、信組問題での金融不安。それと例のカルトの問題なんかで、経済は不安定。円安になんともおかしくないにこの状況」。そこで彼は言う。「投機筋の思惑とメキシコが今回のドル安の原因だ」と言い切る。

メキシコ貿易赤字国転落⇒アメリカのメキシコ通貨ペソの買い支え⇒莫大な貿易赤字国アメリカがメキシコ経済へ介入⇒両国の泥沼化⇒通貨市場のドルへの信用不安⇒ドル安というのだ。

NAFTA（北米自由貿易協定）の慢

等生と言われていたメキシコは、1989年くらいを境に、貿易赤字が発生。赤字が増えれば金を他国から借入しなければならない。すると益々、赤字が増える。借金が増えれば金利が払えなくなる。貿易のための外貨準備も底を尽き、ペソが信用不安を起こした。これがアルゼンチンに波及し、元宗主国であり、密接な関係を持つスペインやポルトガルにも波及し、その通貨不安がヨーロッパ各国にも波及し、全世界的な通貨不安が発生した。これに歯止めをかけたいアメリカが過剰にメキシコに介入したというのだ。

「もうひとつはマーケットの機能不全。通貨市場の混乱と複雑化」と前述のアナリスト氏。現在の通貨市場というのは、銀行、証券会社、生損保会社といった金融機関と俗にいうオイルマネー、ユダヤ系金融資本、華僑といった投機筋などによって構成されている。彼らは円・ドル相場の需給バランスの中で、リスクヘッジ（急騰や急落による損壊を回避すること）のための先物取引（何カ月後に決済する約束で売り買いすること）を常時行っている。

乗り切る産業と没落する産業

それでは、円高の原因がそうだとして、その影響はどうなるのか。前述のアナリスト氏は言う。「まず、円高が進行すれば、安い労働力を求めてメーカーなどの現地生産化が進み、



国内産業の空洞化が起きる。為替の影響は輸出に関しては1円の円高で6~7億円となる。簡単に言うとドルで貿易決算の代金を受け取る業種は軒並み苦しくなるということだ。電気、機械、自動車といった加工して組み立てる産業は沈没する。その一方でエネルギー、食品、小売はメリットを享受できる可能性がある」と分析する。

例えば、電力では1円の円高で100億円の差益、ガスなどは30億円程度となる。小売は絶じて、低価格輸入ブランドものがメリットとなるが、ビールなどは輸入品との競合もあり、一概には追い風とは言えないようだ。

「ただし複雑な流通過程を持つ日本で、ダイレクトに消費者のメリットになるかどうか」と言葉を濁す。

アナリスト氏に、円高を乗り切る特効薬はあるかと問うた。しかし、返ってきた答えというものは

「今回の円高・ドル安はいってみれば、アメリカの思惑の失敗と、それを尻目に見ながら、多額の差益を獲得した投機筋が作り上げたフィクション」とまた、言葉を濁した。

[文：新谷敏之]



HAYANO

文化の結実。
人、モノ、コト、文化、歴史…
もっと楽しいコミュニケーションが
新しい土壤から生まれようとしている
だれもが期待に胸ふくらませる時
やがて種は花をつけ、実りを待つ、
そんな、すばらしい日のためは



河口湖ステラシアター

主 催 平成26年1月開業～平成26年1月16日
会場 施設内河口湖温泉
開 催 毎日午前・午後公演・朝日公演・共同企画

株式会社 早野組

HAYANO CORPORATION

本 社 〒400- 山梨県甲州市東光寺一丁目4-10
TEL 0552-35-1101 FAX 0552-35-1109
東京支店 〒193 東京都大田区千人町2-5-24
TEL 0426-67-8800 FAX 0426-67-9497

中 信 本 店 早野組富士市美和2321-1 TEL 0268-22-2019 FAX 52-2121
勤 員 营 業 所 富士市南富士西新街4-41-2-402 TEL 23-3376-2992 FAX 3375-7124
新 井 萩 業 所 静岡県静岡市葵区2丁目4-7 TEL 054-246-2503 FAX 246-2503
新 井 萩 業 所 静岡県土村市南柳の浜町1丁目32 TEL 0572-55-2834 FAX 55-2837
別 々 業 所 早野組御影市御影3-449-1 TEL 0265-63-5380 FAX 63-5488

企業ウォッチング

ホテル湯王温泉

ホテル湯王温泉・専務
橋本 光一 氏
はしもと こういち



◎ホテル湯王温泉／企業データ◎

1967年、樺村昌・橋本喜造氏が大衆浴場「湯王温泉」を開業。6年、面積に加えてホテルを開設。そして今年5月7日に施設を増設してリニューアルオープンした。自慢の風呂は、毎分400㍑の自噴温泉。源泉風呂や超音波風呂、バイブル風呂、泡風呂、水風呂、寝風呂、上がり風呂などさまざまな種類の風呂にサウナも完備している。外傷性障害、骨及び関節などの運動器障害に効く他、健労回復、神経炎や神經痛、慢性筋肉リュウマチ、慢性関節リュウマチなどに効能がある。一泊入浴料310円。宿泊施設は、シングル（5300円～）22室、ツイン（1人5000円～）2室、親・子2食付の和室（本館1人8000円～、新館1人9000円～）14室。以上の施設の他にも、160畳の大広間をはじめとする大・小宴会場があり、無愁金、法事、会食などに利用できる。甲府市住吉5-10

広い湯ぶねにゆったりつかって、体と心の疲れをいやす—日本人ならではの幸福な時間だ。「昔は家に風呂のない方が来ただけれども、今は家に風呂があっても来てくれます」と橋本氏が言う通り、大衆浴場の人気は、確かに上がりつつある。「スーツを着たサラリーマンやOLの方が、会社帰りに寄ってくれるのが目立ってきました。皆さん、車の中に風呂道具を入れているみたいですよ」。

昔の銭湯通いを懐かしむ年配に混じって、若い世代も増えている。湯王温泉の利用客は、年齢層が幅広い。

■時代のニーズに合った、お風呂色々！

もちろん、昔からの銭湯経営にあぐらをかいていたのでは、生き残ってはいけない。現に県内でも1年間のうちに、いくつかの大衆浴場が消えていっている。その点、湯王温泉は、時代のニーズをいち早く察知して、バイブル風呂や超音波風呂、サウナ、水風呂、寝風呂など、いろいろな種類の風呂を用意し、また、宿泊施設や宴会場も併設するなどして、順調に客数を延ばし続けている。「中には増穂町や上野原町から、家族連れで毎週来てくれるお客様もいるんですよ」と、橋本氏は嬉しそうに話す。これもひとえに企業努力のなせる業だ。

「うちの基本は大衆浴場です。地域の皆さん方に、気軽にゆっくり楽しんでもらいたいと思ってるんですよ。多くの人に利用していただきたいと考えていますので、料金も低くしてありますしね」。“やすらぎの湯”“ふれあいの湯”“やさしさのおもてなし”をテーマに

事業展開をしている同社の専務ならではのコメントだ。橋本氏は続けて「ストレスがたまりやすい時代でしょう。風呂に入って疲れをとって、また翌日元気でがんばってほしいと思いますよ。出張で宿泊施設を利用しているサラリーマンの方にも、ゆっくり休んでもらって、明日からの仕事を成功させてほしいですね」と語る。

■やっぱり大きな浴槽が一番

今の季節は、汗をさっぱり流していく人も多いが、やはり冬場の入浴者数はぐんと伸びる。「体が芯までボカボカ暖まり、寒さ知らずで朝までぐっすり眠れる」と評判がすこぶるまい。杖についてしんどそうに来たお年寄りが、2~3時間風呂につかったら、帰りに杖を忘れて帰ってしまったなどというエピソードもあるという。ちなみに人気の湯は「超音波風呂」と「寝風呂」だそう。

現在、従業員は8名（パートさんは別）。「なるべく経費を抑え、お客様に還元したい」との考え方から、専務自ら、3~4人分働く。「湯王温泉は年中無休。私自身も決まった休日というのがないんですよ。旅行やレジャーの予定がなかなかたたず、暇な時を見計って、家族を連れてバッと旅行に出掛けるというような感じです。しかも、皆さんが遊んでいる時に忙しい仕事でしょう。冬はスキーに行きたいなあって思っても、つい行けずじまいになってしまったりして、趣味という趣味がなくて…困っちゃいますよ」と笑う。

[取材：桑本美佐樹]

甲府万葉をあるく会

歌が生まれた地に立ち
万葉のむかしに思いを馳せる

万葉集に魅せられた人々

なまよみの 甲斐の国 うち寄する 駿河の国と
こちごちの 国のみ中ゆ 出で立てる 富士の高嶺は
天雲もい行きはばかり 空飛ぶ鳥も 飛びも上らず
燃ゆる火を 雪も消ら 降る雪を 火も消らつ
言ひも得ず 名付けも知らず くすしくも
います神かも 石花の海と 名付けであるも
その山の 包める海ぞ 富士川と 人の渡るもの
その山の 水のたぎちぞ 日の本の大和の国の
鎮めども います神かも 宝とも なれる山かも
駿河なる 富士の高嶺は 見れど飽かぬかも

(三巻 三一九) ……

万葉集四五一首のうちで、山梨の地を詠んだ歌はこの長歌一首だけだ。「甲府万葉をあるく会」はその名の通り、万葉集に歌われた地を訪ねる会である。山梨に一首とはさびしい。無い物ねだりか、まだ見ぬ地への憧れなのか、同会は、万葉集ゆかりの地の宝庫である奈良、京都方面はもちろんのこと、筑波山、淡路島、太宰府など全国各地へ精力的に出掛けている。

「万葉集は日本の叙情の根源であり、古代の人々の声が息づいているのみならず、自然や土地との結びつきが極めて深い。ゆかりの地を訪ねることは、古代文学に接するだけでなく、古代史や民俗学をも併せて学ぶことができる」と発足して、今年でちょうど10年になる。30人でスタートしたメンバーも、今では100人。50~60代を中心に、会社員や主婦、公務員、教員など、さまざま



和歌山県海南市藤白坂での犬養孝氏（左、車イス）とメンバー
＝平成6年4月

まな顔ぶれだ。

メンバーに共通している点は、研究熱心だということ。講義形式で行なっている月1回の学習会では、質問や意見が活発に出される。会の代表であり、学習会の講師の1人でもある手塚正巳さんは「皆さん本当によく勉強していく驚きます。発足当初からの方は10年も研究しているでしょう、専門家も頗負けの知識ですよ」と言う。講義は午後1時から5時。半日みっちり勉強する。この10年間で四五一首のうちの3分の2には触れてきた。「1回の講義で、一首か二首についてしか触れられないこともあります。しかし、この一首を深く鑑賞することによって、他の歌にも応用できるよう、解釈の基本をしっかりと学習してもらっています」。講師陣もメンバーに負けじと、熱のはいった解説をする。万葉集に魅せら

れた人々が、心ゆくまで語り合い、古代に思いを馳せる。「最高齢者は80代の方。長時間の学習会ですが、熱心に来ていますよ。万葉集関係の書籍などが出されると、いち早く内容を訪ねられます」。

学問の道に年齢制限はない。

歌の生まれ故郷を訪ねて

同会のメインイベントは、やはり、万葉集ゆかりの地を訪ねる旅である。「万葉旅行」と名付けられたこの旅行は、2泊3日で年2~3回行なわれる。学習会でしっかり予習をし、現地へ赴く。「歌が作られた現場に、実際に自分の足で立ってみて、皆さん感動でいっぱいの様子です。想像力がかき立てられ、歴史が自分のなかで現実のものになるんです。事前学習の手応えもしっかりつかんでいるようで、まさに目学問・耳学問ですよ。現地を訪れることがぜん意欲が湧くらしく、バスの中や宿の風呂でも、解釈をめぐって議論をたたかわせています」。

現地では、地元の万葉集研究家や郷土史家に解説をしてもらったり、国学者の犬養孝氏を招いて講義を受けることもある。「解説をお願いする先生方も熱意ある方々ばかりで、犬養先生などは、現地でお話した後に宿でも特別に3時間も講義してくださったりしました」。

※ 甲斐の国と駿河の国と 両方の国の真ん中からそびえ立つ富士の高嶺は 天雲も遮みかね 空飛ぶ鳥もそこまではのぼらず 頂に燃える火は雪で消し また降る雪を火によって消し いいようもなく 名付けようもなくとおとくいらっしゃる神であるよ 近くに石花の海と人々の呼んでいる湖も この山が抱く海であるよ 富士川として人々の渡っている川も この山に発する激流であるよ 日輪の輝くわが大和の国の鎮めの神としていらっしゃるよ 国の宝ともなっている山であるよ 駿河の国の富士の高嶺は いつまで見ても飽きないことだ



発足まもない頃のメンバー 昭和61年8月富山県高岡市の大伴家持像の前で

防人の歩みしならむ足柄古道荒れたる道を今にたしかむ
松木 基（「都万麻」七号より）

いにしへもかく降りそそぐ春の陽か水底の石きらめきやまず
志村俊枝（「都万麻」八号より）

年1回発行される会誌「都万麻」には、日頃の研究成果が発表される他、上掲のような万葉旅行の歌なども掲載される。手塚さんは「万葉集ゆかりの地に立って得た感動の大きさと純粹さを大切にして、これからも万葉集を読み続け、考え続けたいです」と語る。

〔文：桑本美佐穂〕

◆甲府万葉をあるく会◆

昭和60年発足。主な活動は、月1回の学習会（講義形式）、年2~3回の万葉集ゆかりの地を訪ねる旅行、年1回発行の会誌「都万麻」作りなど。入会はいつでも可能。学習会や旅行などの行事は、土・日曜日に行なっているので、仕事を持っている人でも気軽に参加できる。

代表：手塚 正巳

〒400 甲府市山宮町669-7

TEL 0552-53-1349

早野グループ4社から 一番ホットな情報を届けします

河口湖に野外音楽堂が誕生

早野組・井出工業・梶原工業所の共同企業体で施工しておきました河口湖野外音楽堂（ステラシアター）がこのほど完成いたしました。この施設では各種コンサートやオペラ・バレエ・演劇等、生の声による舞台が展開できます。又、音響効果と視線条件を確保するため、日本の野外ホールでは初の、古代ローマ劇場に似た半円形で30度の傾斜角を持つすり鉢の客席空間をつくりだしています。7月1日以降の主なイベントは下記の通りです。

- 7月21日(金)
サマースペシャルポップスコンサート
出演者 森山良子、玉置浩二、加山雄三、イルカ、伊藤多喜雄、GAO
- 7月27日(木)
Earth Sonic 森と緑の音楽祭
出演者 ジーコ、サンババンド、河口湖美善太鼓、他
- 8月6日(日)~8月15日(木)
サマーナイトシアター～野外映画～
- 8月20日(日)
Fitお洒落交響楽団'95
出演 東京フィルハーモニー交響楽団、黒柳徹子、同村衛正他
- 8月25日(金)~8月28日(月)
ニングル 作・演出 倉本聰 出演 富良塾カンパニー他
- 9月2日(土)
初秋の夜に冴えわたるオカリナの響き
出演 宗次郎

お問い合わせは河口湖ステラシアター
TEL 0555-72-5588まで

○○早野組
甲府市東光寺1-4-10 TEL 0552-35-1111

15周年のビスタです

第4号でお知らせした「トヨタビスタ山梨15周年大感謝祭」を皮切りに、より身近に、そして親しんでいただけますように、15周年のビスタは頑張ります。

まず手始めに、サービス工場の日曜営業を始めました。今まで平日にはご来店いただけなかったお客様にも、一般整備、点検整備等のサービスがご利用いただけるようになりました。

また、道路運送車両法の改正にともない、ユーザーの日常点検義務のお手間を皆様に代わって実施する、「ビスタマイレージサービス」を新発売いたしました。概要は、28ページのインフォメーションをご参照下さい。

そのほか、ポイントプラスでキャッシュバックの「トヨタカード」や、お客様相談電話のフリーダイヤル化の実施、アジア各国少数民族の恵まれない子どもたちの、支援活動に協力するための「使用済みテレホンカード」の回収、さらに今までの「○○営業所」といった呼称を、「トヨタビスタ山梨○○店」というように改め、皆様のご来店を心よりお待ち申しております。

一 店 名 称 変 更 一

甲府東営業所	→	甲府東店	駿北営業所	→	駿北店
甲府西営業所	→	甲府西店	駿南営業所	→	駿南店
竜王営業所	→	竜王店	吉田営業所	→	吉田店
駿東営業所	→	山梨店	都留営業所	→	都留店

※お客様相談電話フリーダイヤル 0120-325055

トヨタビスタ山梨㈱
本社：甲府市朝氣3丁目10-21 TEL 0552-32-5511

20周年記念特別限定商品 「メレーゼ・C-20」発売

トヨタ自動車が、住宅事業に携わってから今年でちょうど20年目を迎えました。それを記念して、トヨタホームでは、特別限定商品「メレーゼ・C-20」を発売しました。

「メレーゼ・C-20」は全国で500棟の限定発売。

また間取りは、実際の生活をしていく上で、ムダのないよう、生活の利便性を十分に考慮した間取りで、基本プラン20通りの中から選んでいただく企画型住宅です。

金額的にも坪単価37万円からと、とってもお買い得です。

なお、この魅力の住宅「メレーゼ・C-20」は、山梨県内で、先着10棟限りなので、住宅建築のご計画がある方は是非ご検討の上、お早めに下記までお問い合わせください。



トヨタホーム山梨㈱
本社：中巨摩郡昭和町河西1043 TEL 0552-75-1234

配送センターが完成

甲府通運では、新しく配送センターが完成しました。物流の新時代に対応できるようシステムの完成を目指しています。

住 所 中巨摩郡田富町山之神字流通園地3211-14
T E L 0552-73-8344
施 工 ㈱早野組
完 成 平成7年3月15日
構 造 鋼骨造 地上1階
規 模 床面積 1,330 m²
用 途 配送センター 「㈱三工社」・倉庫・事務室



甲府通運㈱
本社：中巨摩郡田富町流通園地3329-1 TEL 0552-73-0611

大分県に青の洞門というのがある
菊地寛の「恩讐の彼方に」の
善海坊の足跡が有名になったが
昇仙峡を開いた長田円右衛門も決して引けを取らない

御岳新道を開いた

長田円右衛門

(おさだえんえもん)

上野 晴朗

うえの はるお

1923年山梨市生まれ。歴史家・作家。県立図書館郷土資料室を経て67年から文筆活動に入る。著書に『甲斐武田氏』等多数

御岳昇仙峡はわが国屈指の景勝地として、内外に広く知れ渡っている。甲府市の北の外れ、金峰山麓に源を発する荒川が、深い山間からようやく甲府盆地に入ろうとするあたり、花崗岩の山肌を洗い、あるいは目を見張る巨岩、巨石を噛んで清流が流れくだり、雄大な渓谷美を形つくっている。秋の紅葉の季節の昇仙峡はまた格別なものがある。

長瀬橋から渓流を歩いて登っていくと、巨岩、奇石の間を流れる透明な水に紅葉が美しく映えて、誰もが賛嘆の声を放つ。この昇仙峡の谷をのぞむ一角に、その昔、接待亭という小さな茶屋があった。村人達はそこをお助け小屋と呼んでいた。

江戸時代の末期、その茶屋に住んで村人達や昇仙峡を探勝に訪れる人に、湯茶の接待をしたり、休息させたりしていたのが、この御岳新道昇仙峡を世に出した、猪狩村の長田円右衛門という人であった。いまその場所には、円右衛門を記念する磨崖の肖像碑が建っている。

昇仙峡が天下の名勝として宣伝されるようになった現代、その前を毎日、何万人という観光客が通りすぎ



一立斎廣重の描く御岳金桜神社

ていくが、しかしその記念碑に気付く立ちどまる人はほとんどいない。一体、円右衛門ら村人は、どのようにしてこの秘境を世の中に紹介したのだろう。記録によれば、皆、金峰山への参詣道は九筋あった。金桜神社はその金峰山を本宮として里方に祀られた神社で、甲府御岳金桜神社もその里宮の一つであった。この神社への参詣道は下道と上道と呼ばれる尾根伝いの道があり、現今の観光道路、昇仙峡を貫く谷底の道は、まだ全く発想の原点になかった。それを発想したのは仙峨滝に近い猪狩村の人々で、その証拠にここに天保5年

(1834)12月に猪狩村の三役から高成村役人に差し出した念書が一通ある。
差し出し申す一札の事
一、私共村方の儀は山中にて、炭薪を甲府へ持ち出し世話致し候所。峠坂多く候へば人馬甚だ難轍仕り、此の度川丈け通新道を切り開き仕り度候處、その御村方御分内のうち、私共入会場内山のうち道筋御無心申し上げ候處、御村談の上御承知下され、然ル上は道造りの筋は御村方へお世話かけ申す間敷候、念のため一札差し出し申し候、以上

天保丑辰十二月 日
猪狩村 名主 勇右衛門 印

長百姓 悲 七 印

百姓代 円右衛門 印

高成村御役人中様 (読み下し文)

このように円右衛門は百姓代で、叔父の勇右衛門が名主役で、いまから161年昔、この新道開削を思い立っているのである。

文面からも窺えるように、猪狩村の人々ばかりでなく、御岳筋の高成、河童、御岳、黒平などの山間部に住む人々は、山中で米が取れず、毎日甲府へ薪や炭を売りにいき、代りに米や塩や日常の雑貨を買い求めて帰ってくるのが日課となっていた。ところがそれまで通ってきた上道や下道は難所ばかりである。人々は本能的に甲府への近道を求める。しかもより平坦な道を夢見てしまう。もし谷底の荒川にそって平坦な新道がつくられたならと猪狩村の人々は次第に具体的に練るようになり、その中心人物が長田円右衛門や叔父の勇右衛門であった。

天保5年(1834)村を上げて工事が始まった。ところが谷底が中心の新道開削工事は、石を碎きトンネルを掘る難工事で、予想以上に莫大な費用もかかり、出費のことから指導

洞門新道

新道開削につくした
長田円右衛門の肖像碑

円右衛門が開いたしつくされた昇仙峡の美道はこの谷底を走る

者同志の間に紛争が持ち上がってしまったり、他村との出入りまで発生、あげくの果てにはせっかく造った道が、天保7年8月の大洪水で崩れ去るという、惨憺たる目にあってしまった。

こうして工事が予想外に長引くと、世間によくあることで、村人が一人欠け二人欠け、ついには円右衛門ただ独りになってしまった。彼はそれでもひるまず、募金運動にも一人で飛び歩き、村人を説得してついに新道を完成させた。円右衛門が大変非凡であると思われることは、村の人々がこの新道に生活のためのぎりぎりのものを託していたために、円右衛門は勿論生活を懸けていたが、それ以上に昇仙峡の渓谷美に魅了されて、その美しさをなんとか世に出したいと念願したことであった。それは今後の観光宣伝とはもちろん本質が違っていた。切り開いていった新道をめぐる渓谷の、この世と思えない幽玄な美しさ、これを単に薪や炭を背負う者だけが眺めるのではいけないと、観じたところに円右衛門の非凡な冴えが見える。

彼は工事費の勘定に歩きながら、

当時の甲府城関係の役人にまず目をつけた点も、百姓と思えないほど勘が鋭い。とくに徳典館の学者関係者に新道の美しさを説いてまわり、その人々に実際に渓谷に足を運んでもらったのである。

その結果、林鶴梁とか乙骨耐軒などの大学者が続々とこの渓谷に入って、覚円峰や仙峨滝を眺めて驚嘆する。そしてこの学者達により、仙人の棲む仙岳にも昇る思いがすると感嘆されて、昇仙峡の名前が生まれてきたのである。

当時徳典館の学者だった林鶴梁は、この渓谷美にすっかり感激して、円右衛門の新道開削にかけた執念とその徳をたたえ、肖像石碑の建設に賛成して進んで画賛、「手足に棘・あかぎれを切らしながら、山を切り、谷を割り、二十年にして初めて志をとげることができた。円右衛門は顔は醜くはあるが、心は菩薩のような人である。」とその人格を讃えた。

円右衛門は晩年、苦労した新道の傍らに接待亭を建て、湯茶のもてなしとして一生を過ごしたという。まさにその行動は青の洞門の善海坊を彷彿させるものがある。

名画に描かれた動物たち 4

妖怪動物と戦う 聖フランシスコ

山本 育夫

やまもと いくお
詩人

ミュージアム・マガジン・DOME（ドーム）編集長

ゴヤの絵たち

フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテスという長い名前を持つ男、通称、ゴヤほど強烈な絵の表情を持った作家も少ないだろう。僕たちがゴヤといって思い浮かべる絵にはどんなものがあるだろう。

例えば、1786年頃の作、「赤い服を着た愛らしい王子」を描いた「ドン・マヌエル・オソリオ・デ・スニガ」という絵を印象に残している人も少なくないだろう。王子の手になるひもの先をたどると、そのひもで足を結わえられた鳥が床にたたずんでいる姿に出会う。その鳥をねらって王子の足下にうずくまる猫たち。この一見愛らしい絵には、ひとたび王の手を離れたら、とたんに人生の荒波にのみ込まれてしまうにちがいない王子の運命を予感させるテーマが潜んでいる。

また、ある人は、1800年頃描かれた「裸のマハ」を思い浮かべるかもしれない。ベッドに横たわる「着衣のマハ」と、まったく同じ構図で描かれた「裸のマハ」。この二枚の絵のモデルは、アルバ公妃ということに

なっているそうだ。つまり、ゴヤが公妃との情事の合間に描いたのではないかというのである。ゴヤはこの絵をめぐって宗教裁判にかけられるが無罪となる。ゴヤ自身、死ぬまでこの絵のモデルが誰であったか口を閉ざして語らなかったという。また、ある人はあの恐るべき連作版画「カブリチヨス」を思い浮かべるかもしれない。人間が理性を眠らせてしまえば、非合理的な妖怪たちがこの世を支配するというテーマを持つあの連作版画にあふれかえる、見てはいけない悪夢の数々。さらには1811年頃の作といわれる「巨像」。1808年から1814年にかけて起こったナポレン戦争により、スペイン全土は战火に見舞われた。広大な大地を逃げ惑う民衆の背後には、戦争を象徴する、空を覆いつくすほど巨大な人の姿が描かれている。

穢やかならぬもの

こうしてゴヤの絵を思い浮かべてみると、ゴヤの作品に潜んでいる「穢やかならぬもの」の存在をかいま見ることができそうだ。ゴヤの心の中

に眠っているある種の狂気。その狂気がゴヤの絵の中に現れ始めた象徴的な作品として、1788年に描かれた「悪魔にとりつかれた瀕死の男を厄介払いするボルジアの聖フランシスコ」が存在する。「ボルジアの聖フランシスコが瀕死の病人に懺悔をすすめている。病人は、暗い背景からのぞき込んでいる悪魔のような動物にとりつかれているのだ。この絵は操作とはいえないまでも、ゴヤの画歴においては重要な作品である。なぜならば、ゴヤはここではじめて、人間性の暗い側面を表現するのに妖怪を使っているのである。(タイムライフ社・巨匠の世界ゴヤ、リチャード・シッケル)」この絵は上下ほぼ半分に分かれた構図をとっている。上部の左半分には緑色の分厚いカーテンが画面の中央あたりまでひかれていて、その右半分には不思議に東洋的な丸い窓が描かれている。そしてその円窓には、障子を思わせる格子が描かれている。画面の下半分には今まさに生じている進行形の、恐るべき光景が描かれている。左端にはベッドに横たわり青ざめた瀕死の男がいる。この絵を見る人は、まずこ

の青ざめた顔に視線が引きつけられるにちがいない。頬はやせこけ開いた口はえぎ苦しんでいる様子が伝ってくる。激しい呼吸に下腹部はへこみ胸は張り裂けんばかりにふくらんでいる。いったい彼はどうしたというのだろうか？ その答は右側に立っている黒装束の男が示している。彼こそが聖フランシスコである。この牧師は右手にキリストの像を持ち、左手ははっきりとそれとわかるように指を開き、いくぶんか首をかしげている。かれが聖者である証拠に頭部全体に丸い光が発している。この丸い光りは、上部の円窓と呼応している。もちろん聖フランシスコが示している姿は、彼があることに全身を傾けて集中していることを表している。彼は瀕死の男めがけて、ある思念のようなものを送っているからであり、よく見るとその思念は、彼が手にしているキリストの像から漫画のように赤い線画となってチチ子チッと音をたてそうな勢いで飛び出しているのである。さらによく見ると、その赤い線はキリストの像の右手から発せられていることがわかる。僕らが考えると、どうしてもこ

れはキリストの頭部から発していた方がいいと思ってしまう。しかし、まあ、ゴヤは右手から発したほうがいいとなぜか考えているのだ。そしてその光線に沿って視線を左側に移すと、この赤いチチチッ光線は瀕死の男の頭部目がけて放たれていることがわかる。男の中に住み着いて離れない懺悔すべきもの。それと聖フランシスコが放つ光線とがまさに戦っている現場が描かれているのだ。懺悔すべきものはまわりで男をのぞき込んでいる不思議な動物たちとして描かれている。赤い光線は男めがけて放たれないと同時に、かたわらでのぞき込んでいる奇怪な動物たちにも注がれている。光線は動物たちに当たってジュッと音を立て煙を上げているようにさえ見える。その動物たちはこの世の動物たちとは異なる様子をしている。一番左の動物には耳があり、大きな目が不気味な光を発している。その隣には目尻を下げ、だらしなく大きな口をへの字に開いている動物の姿も見える。果たしてこの妖怪動物たちは、聖フランシスコのキリスト像チチチッ光線で倒されるのであろうか？ という

ような、いささかSFタッチの漫画的軽快ファットワークでこの一枚の絵を読み解くこともできる。

理性のほころび

しかしもちろんここには理性のはころびが描かれているのである。当時の理性、キリスト教自体が、ゴヤの心の中ではころびを示し始めていた。キリスト教が封じ込めたはずの暗黒世界からの逆襲の始まり。この絵はまさにゴヤ自身の中に果く始めたこの疑惑を宣言するかのような絵だ。やがてゴヤは公妃との不倫や神に背く戦争、人の心に果くう狂喜などを、描き続けることになる。この絵は一見漫画的である種の諷諭性をあわせ持っていて、現代人なら笑いだしそうな物語の向こう側に、逆にリアルな人間の恐怖が露出していくような氣配を漂わせている。あなたの理性は元気ですか？と問いかかれている気がしないでもない。オウム教により噴出した「狂氣」が、極東の国日本のかたわらでのぞき込んでいた。この狂氣はもちろん、僕たちが生み出した狂氣である。



「悪魔にとりつかれた瀕死の男を厄介払いするボルジアの聖フランシスコ」1788年作 フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス



もっと身近に! もっと気軽に! 生活者のニーズに応える消費者金融



プロミスの自動契約受付機「いらっしゃいまし~ん」

Hey,dude! 夏が来たぜ! この間さっそくカードで水着や服を買いまくり。気分はもう既にホリディ! …でも、正直なところ後々の請求が怖いんだあ…。ボーナスを当てにしごぎたのがマズかった…。沖縄に行くつもりが、静波辺りで終わっちゃったらどうしよう! ?え~い、こうなったら今流行のローン会社に行って相談するっきゃないかー!

と、最近はこんな20代女性も多く訪れるという消費者金融会社。利用客は20代~30代の若者から熟年の方々までその年齢層は幅広い。

CMで、竹中直人氏が招き猫と化し、「ニ~コニコクレジットで福招こう、ニヤア」と歌いながら、商店街を行進してます。見たことがあります? (このフレーズ、ふと気づくと口ずさんでるなんて事、ない?)。個性的なタレントを起用して消費者ウケを狙ったこのテのCMは、今までどちらかというと暗く、影の存在だった業界のマイナスイメージを改善する大きなステップアップに助力しています。

もちろん、宣伝活動だけでなく、顧客サービスの一層の充実や、従来にも増した便利さ・信頼性もイメージ返上には欠かせません。その一つとして、いよいよ本格的な導入となった自動契約受付機があります。「対面審査が苦手」などの利用者の心理を考慮し、無人で契約できるよう最新のマルチメディアテクノロジーを駆使。このスグレモノを一早く山梨に取り入れたのがプロミス。音声ガイダンス・コンピューターグラフィックスを使用した映像ガイダンスにより、簡単な操作で契約が可能。もちろんブース内のプライバシーは完全厳守で、セキュ

リティ一面でも100%安心して利用できます。業界初、遠隔地双方向映像通信機能の採用により、契約受付センターの担当者と質疑応答。与信審査を経て、契約書の作成、PALカード(会員カード)の即時発行まで、所要時間は約30分。この便利なシステムにより、パソコン世代に育った我々dudeは大いにキャッシングサービスを有効活用できるので万々歳! もう人の目は気にしなくていいんです。

自動契約機に加え、深夜0時まで利用できるATMの増設、他業態とのCD・ATMネットワークの充実など、消費者のニーズに限りなく近いものが次から次へとどんどん開発していくので、我々としては嬉しい限り!

今や、お金を「貸す」というより、お金という商品を「売る」感覚に近い消費者金融会社。コンビニに通い慣れてるせいか、我々dudeは便利という言葉についてぞられてしまいがち。銀行が閉まった後や、急ぎの入り用にも手軽に利用できるなんてラッキー! ただし、利息分は少々目をつむって、ね。

一時、「自己破産」や「サラ金地獄」、「クレジットクランチ」など、多くの現象、新語を生み出したこの業界。しかし、最近は一流大学の新卒者を多数採用したり、数社が見事東証二部へ上場を果たすなど、不良債権の処理に奔走している銀行を横目にメキメキと業績を上げています。

長く続く不況の中、今この商売が熱く、ウケてます。

[文: 真壁仁美]

(取材協力: プロミス株式会社)

思いがけない場面で ふるさと再発見 こんなところに山梨

蒸し暑い日本の夏を、ひやり、ぞっとさせてくれる怪談。そして、怪談の代表作といえば「四谷怪談(東海道四谷怪談)」。鶴屋南北の作で、初演は文政8年(1825)のことだった。歌舞伎ばかりでなく、映画にもしばしば登場し、「お岩」は、日本の幽霊の極め付けともなっている。

お岩という一人の貞淑な妻がいる。亭主の民谷伊右衛門は浪人中の身の上であり、暮らしは貧しく、おまけに産後やつれがひどいが、けなげに亭主に恩くす。伊右衛門は、赤子の泣き声にもいらいらをつのらせるという精神状態である。

伊右衛門に、思いがけない誘惑が仕掛けられる。伊右衛門に恋心を寄せる娘が現われ、その家では娘かわいさに、伊右衛門を婿にとろうと強

引な企てをする。お岩に飲ませる毒薬まで用意する。伊右衛門の前に、若い娘ばかりでなく、地位と金、就職口まで一度に転がり込んだわけである。

「四谷怪談」に登場する
甲府善光寺の秘仏
恋占いや願掛け
江戸の町で大人気に…

づくりの演出であり、円滑な芝居への導入をはかる場である。したがって、芝居の台本を読むと、当時の江戸風俗を知る手がかりとなる。

話題の「灯籠仏」というのは、願かけの仏で、願い事を胸にこれを持ち上げると、軽いときと、重いときがあり、軽ければ願い事は叶うといわれた。たとえば、添いたい人がいるとき、願をかけ、この仏を持ち上げ、軽く上がれば恋は実ると占われた。

「四谷怪談」の序幕「浅草境内の場」は、この時期、江戸で甲府善光寺の秘仏「灯籠仏」のご開帳があり、かなりの群衆を集め、あわせて秘仏への信仰も広まっていったことをうかがわせてくれる。思いがけない場面での、ふるさと再発見である。

(寿)

〈参考資料〉

鶴屋南北論集「灯籠仏一件始末」
服部幸雄(鶴屋南北研究会編)

共通語の会話は、そばみたいにボキボキ折れるが、大阪弁の会話は、うどんのように次々とつながっていく、という指摘や、また、大阪弁はしつこく断定しないので「けどの文化」だといった、なるほどとうなづかされる解釈が随所に盛り込まれていて楽しい。

言葉には「共通語」と「地方の言葉」とがある。政治や経済を語るには、全国の誰でもがわかる「共通語」が便利だ。たとえば、津軽弁の代議士と鹿児島弁の代議士とが国会で渡り合っている図を想像するだけで充分だ。もともと今日の「共通語」は、明治政府などによって作られ、普及されたものだと考えていい。

この本は「地方の言葉」にはそれぞれの暮らしがあり、言葉は文化そのものであり「多様な言葉と文化が共存し、花開いてこそ、日本全体に豊かさがもたらされる」と語りかける。

登場するのは、落語家、歌舞伎俳優、文豪太夫、歌手、大学教授、作家といった多彩な顔ぶれで、それぞれの分野から、大阪弁をとおしてみる、大阪の文化の本質にせまっていく。

そうそう、小学生の頃、甲州弁を使うと先生から「キタナイ言葉を使わないで、ちゃんと標準語を使いなさい」と叱られたのを思い出す。

経営書院刊 ¥1400

Book

いま人気の大阪弁の秘密にせまる
「大阪弁の世界」

NHK大阪弁プロジェクト編



会いたい人から 会いたい人へ
知りたいことから 知りたいことへ
リレーでつなぐエッセイ

「神遂の里」

(かみやらいのさと)



牛山 初美

うしやま はつみ
第3回やまなし文学賞優秀賞 図書館司書

甲府市東部の町、上阿原。町のまん中を走る国道二十号線に沿って大きな店舗が次々と建てられ、ここ何年かでずいぶんと様変わりしました。でも一步奥に入れば、一面のブドウ畠です。日差しが強くなるにつれて、生い茂るブドウの葉はまるで緑のカーテンのよう。ここに越して来てから、もう十年ほどになるでしょうか。

この町では地元の人たちが時折、妙なことを口にします。「かみあはら」ではなく「かみあらい」と言うのです。首を傾げていると「ここのこんだよ」と笑われました。

玉諸小学校の近くに、町の美化を呼び掛けるポールが立っています。昭和59年に甲府市が設置したものですが、そこには町名の由来として、こんなことが書いてありました。「上阿原は以前は上新居と呼ばれ、もともとは神遂の神事を行っていたことから神遂の里と呼ばれていた……」

神遂の神事とは、記紀のスサノオ追放神話になぞらえて、人を捕らえて裸にし、木の枝を持って追い払うという奇祭だったとか。それを行つ

ていたのが神明神社だと知り、びっくりしました。まさか、あの小さなお宮が？

地元の集まりなどで何度か行ったことはありますが、本当にかわいらしいお宮で、とてもそんな壮大な言い伝えがあるとは思えません。でも、近くにスサノオにまつわる史跡があると思うと、何だかどきどきしてしまいます。あらためて見に行つて来ました。

国道二十号線から車で南へ数分、神明神社は上阿原でも古い地域に鎮座しています。住宅と田畠が混在する中、そこだけこんもりと杉林に囲まれて、なるほど草だらけの狭い参道はお宮の大きさからするとかなり長く、以前はもっと大きな神社だったのかもしれません。けれど石組みはあちこちが欠け、小さなお宮は今にも草に埋もれてしまいそうです。『甲斐国史』によると、このあたりは昔、伊勢神宮所領の石禾（石和）の御厨が置かれていた所で、延暦3年（784）に伊勢神宮を勧請して神明神社を創建したそうです。

延暦3年と言えば、今から千年以上も昔の話。思わずため息をつきな

がらお宮を眺めていた私は、すぐそばのブドウ畠に人がいたのに気がつきませんでした。麦わら帽子をかぶったお年寄りが二人、不審そうにこちらを見ています。バツの悪さをまぎらわせながら、神遂の神事のこと尋ねてみました。

「いやあ、そんな祭りは知らんね。わしは、もう七十にもなるだが、聞いたこともねえさ」

「お祭りはあるよ。春と秋に、草取りしてお神酒を上げて。春のお祭りは、玉諸神社のお行幸さんといっしょだけんどね」

「その秋の祭りが、たぶん神遂の里と呼ばれていたはずなんすけど」

でもいくら聞いても二人は首を振るばかり。どうやら地名の由来は、本の中だけの記録になってしまっているようです。

「『かみあはら』を訛って『かみあらい』っちゅうじやないだけ。『かみあらい』なんて知らんよ」

笑いながら、ブドウの手入れをするお年寄り。国道を走る車が派手にクラクションを鳴らして行きます。初夏の光の中で、神明神社は素知らぬ顔で眠っているようでした。

近世陸上運送の歴史をさぐる(5)

<甲府通運のページ>

人や馬の力で運ばれた物資は
汽車の時代へと移って行く



林 陽一郎

はやし よういちろう
山梨県教育委員会・県史編纂文化財担当

頼っていたものが車の利用によって大きく変わる。幕末に横浜に来た西洋人達が使っていた馬車は、明治維新とともに、日本人の手による乗合馬車として八王子や高崎で活躍する。

甲州道中各宿駅で陸運会社が開業した明治5年（1872）には、新橋～横浜間でわが国最初の陸蒸気（汽車）が走る。このとき乗客とともに郵便物も運ばれている。鉄道貨物として荷物が汽車で運ばれるのは明治6年（1873）9月が最初である。新橋、品川、横浜の三駅に貨物取扱所を設け、貨物の集配を三井組に許可したのが鉄道貨物取扱業者のはじまりで、貨物取扱業者とは「鉄道と荷主との間に介立し荷主の委託に依って集貨配達の小運送及び貨物の積卸しを請負ひ進んでは鉄道を通じての運送を取り扱ふものにして鉄道の補助機関として最も必要なものとす」（明治運輸史第三章第三節貨物運送取扱業）。

山梨県に鉄道が来たのは、明治36年のこと、それまで物資輸送の大動脈であった富士川舟運は、終りをつけ、それまで東海道系の物資輸送が主力であった山梨は、東京系の物資がその主力を占めることとなる。

<トヨタビスタ山梨のページ>

ご存じ大泉村のスキー場
「Kitz Meadows 大泉・清里スキー場」が
夏は「Kitz Meadows ハイランドパーク」に大変身する

**Kitz Meadows
ハイランドパーク**

いち押しさは、何といっても富士山や南アルプス、秩父山系を一望することができる雄大な眺め。冬場はスキーヤーの足として活躍していたりリフト2機が「展望リフト」として、1900mの山頂まで連れて行ってくれる。リフトからは、クルマユリやヒヨドリソウ、ツリガネニンジン(ニッコウキスゲ)などの高山植物が観賞できる。ここは八ヶ岳中信高原国定公園内に位置しているため、高山植物の宝庫だ。色とりどりの草花が、



高原のさわやかな風にゆれている姿は、なんとも美しい。山頂でのもう1つの楽しみは、展望レストラン「スピカ」のソフトクリーム。ハイランドパークの人気商品なのでぜひご賞味を。

素晴らしい景色を満喫した後は、バーベキューでお腹もいっぱいにしよう。おいしい空気の中、緑のゲレンデと雄大な山々を眺めながら食べるバーベキューは格別。また今年は、キャシー中島さんのバッチャワーキルト展&本人による講演・講習、県内で活躍する写真家によるネイチャーフォト展も開かれる他、自然と

アートの調和をテーマにした現代美術作品が、パーク内に設置されている。

「今まで、いらっしゃるお客様にサービスを提供してきましたが、これからは、こちらからお客様の方へ出掛けていって『Kitz Meadows ハイランドパーク』を多くの方に知つてもらいたい」という積極的な営業を展開しているKitz。ここでトヨタビスタのターセルが大活躍している。「営業先は県内をはじめとして静岡、神奈川、東京などの関東近県。ターセルの小回りのよさに惚れ込んで購入しました。特に都内は、道路が入り組んでいて、おまけに狭い。こんな時、ターセルだと助かります。それにこの辺は坂道が多いので、燃費のいいターセルは本当にありがたいですよ」と社員の方も大満足。ターセルは、夏のKitzになくてはならない存在だ。

〒407-03

北巨摩郡大泉村西井出8240-1

TEL 0551-48-4711

・営業期間 7月1日~11月5日

(9月18日~11月5日は土日祝日のみ営業)

・営業時間 9:00~17:00

<トヨタホーム山梨のページ>

自慢の和室は総檜造り
広々としたダイニングキッチンには
家族団らんの賑やかな声が響く



深沢靖夫さん宅 (玉穂町)

「今までの住まいが鉄筋コンクリートの洋風だったので、和風の家を建てたいと思って」という深沢さんが選んだのは、トヨタホームの和洋折衷的な雰囲気を持つ「フォーレ」。とても広い玄関を入ってまず目につくのは、左側の部屋に入る格子戸だ。二間続きの和室への入り口になっている。「玄関からの“洋”的”の雰囲気と、

う。床の間も最近では珍しい本床に仕上げた。日当たりもよく、風通しも抜群の素晴らしい和室だ。もう1つのご自慢は、広々としたダイニングキッチン。普段は深沢さんと奥さんの二人暮らしだが、週末は独立している息子さんや娘さんが家族連れで訪れる。そのためダイニングテーブルは二台置いてある。それでもとっても広々としてゆったりした感じだ。「顔を見ながら全員一緒にご飯を食べたり、お茶を飲んだりできます。そりやあ賑やかで楽しいですよ」

土木工事業を営んでいる深沢さんとトヨタホームとの付き合いは、公



和室の“和”的”雰囲気の区別をはっきりつけたい」との深沢さんのアイデアで実現した。

そのご自慢の和室は、建具から障子まで全て上質の檜を使用した“総檜造り”。部屋の中は、檜のすがすがしい香りが漂



私共々トヨタホーム創業以来。全面的な信頼のもとで深沢邸は建てられた。専門家である深沢さんの目から見て「トヨタホームは鉄骨がしっかりしてますねえ。すぐれた材質ですよ。地震にも強い。見えない所にも気を配ってくれているので、安心して住んでいられます」。使用した鉄骨は、車のボディーと同じ塗装方法で錆びない鉄骨だ。トヨタ自動車の車造りのノウハウが活かされている。

「ご希望通りの家を建てましょう」とのトヨタホームの言葉通り、完成までには何回も話し合い、基礎工事は深沢さんが自ら行なった。庭も、和室からは日本庭園らしく、ダイニングキッチンからは洋風に見えるようにと、植木の種類を深沢さんが工夫した。室内の壁にはステンドグラスがさりげなく組み込まれている。まさに施主と施工者の合作だ。その結果「思うような家を建ててくれて大満足」と深沢さんは微笑む。

「よい造りの家というのは、冷暖房なんか入れなくても、夏涼しく冬暖かいもの。ひと冬過ごしましたが、とても暖かかったですよ」さて、初めての夏はいかがでしょうか。

<トヨタピスタ山梨>

「ピスタマイレージサービス」新発売

平成7年7月より自動車の点検整備に関する法律
(道路運送車両法)が変わりました

◆主な変更点

- ・ユーザーの保守管理責任が明文化されました。
- ・ユーザー自身による「日常点検整備」が導入されました。
- ・自家用乗用車の「6カ月定期点検」の義務づけが廃止されました。
- ・定期点検項目が大幅に削減されました。

平成7年7月1日施行

以上のとおり新しい法律では、車の点検・整備についての規制が緩和される一方、車の保守管理責任がユーザー自身にあることが明示されました。とはいっても実際に日常の点検整備等を自分で細かく実施するには、相当の手間とノウハウが必要です。そこで新メンテナンス商品「ピスタマイレージサービス」の発売です。ユーザー自身が行わなければならない煩雑な日常の点検整備をトヨタピスタ山梨がユーザーの皆様に代わりお引受けいたします。

サービス内容は、走行距離、使用状況に応じた3コース・全19項目プラスアルファーで、3000円からと大変リーズナブルな設定となっております。また、継続的にご利用いただきますと、法定12カ月点検及び車検入庫時には基本料金を最高30%まで割引きいたします。加えて、ただ今会員募集中のトヨタカードをご利用いただければさらに特典がいっぱいです。

これからますます重要になってくる日常の点検整備。トヨタピスタ山梨が責任を持ってお手伝いいたします。詳しくは、最寄りのトヨタピスタ山梨各店サービスアドバイザーまでお気軽にお問い合わせください。

<トヨタホーム山梨>

使いやすい間取りは「動線」が決め手
(家族の動きを図面でチェック)

間取りの使い勝手を大きく左右するのが動線です。住んでから「使いづらい」と嘆くことがないようにするには、図面段階でしっかりとチェックしておくことが大切です。

まず、「動線」とは、家の中を人が動く軌跡。言い替えれば生活する中で、何かをする時に伴う人の動きの跡。それを線で表したもののが動線です。

例えば食事の用意をするとき。その場合はまず、これまで過ごしていた場所からキッチンに向かう、という動きが伴います。仮にリビングでくつろいでいたなら、リビングから→連続するダイニングを通り→キッチンへ、といった軌跡になります。ほか、起床から就寝まで、家族それぞれの様々な行為に沿った動きの跡、動線が住まいに描かれるのです。

例えば、1階に洗濯機が、2階に物干し場があるなど、遠く離れている間取りを考えてみると良いでしょう。洗濯が終了するまでに長い距離を何往復もしなければならないので、家事にかかる時間や労力のロスが大きくなると予想されます。また、接客スペースの近くに浴室があるような場合は、家族が入浴した後、自室にいくのに、風呂上がりの姿を客の目にさらす結果に。このように動線に難があると、使い勝手が悪くなり、生活に不便や不都合が生じたりするものです。

とくに家事動線は短いほど合理的で、家族の動線と来客の動線は交差させない方が良いでしょう。ただ、短いのがすべて良いというわけでもなく、家族同士の動線なら交差するようにするとお互いのコミュニケーションにつながります。

トヨタホームでは、こうした生活の便利性を十分考慮した中で皆様方により良い住まい造りをご提案しています。「住まいに夢と思いやり」がトヨタホームのテーマです。

<早野グループのページ>



甲府JCに参加してその活動を語る

早野グループから甲府JCへ参加
ゲストを囲んでその意義・抱負を語る

甲府JC(=甲府青年会議所)とは…1951年4月に設立。現在、メンバーは300余名。「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、次代の担い手である責任感を持った20歳から40歳までの青年の団体。サービス(社会への奉仕)、トレーニング(青年経済人としての自己修練)、フレンドシップ(世界との友情)の3原則のもと、信玄公まつりへの参加や献血運動への参加協力、甲府大好きまつりの企画・運営、山の郷、大学協賛など、地域に完全密着した運動を推進している。

菊島 甲府JCに早野グループから町田君と松浦君が、今回新しく入会することになり、JCがどういう活動をしているかなど、JCの先輩である茂手木寛さんにお話を伺いながら話を進めていきたいと思います。まず茂手木さん、JC活動の感想などをお聞かせください。

茂手木 事業を通して県や市の方、市民の方と知り合いになりました。JCの全国的、世界的規模を利用して各地に行けたことが大きな経験になりました。皆さん的人間的成长と、JCでの人間関係を仕事に活かしてほしいと会社は望んでいると思います。前向きに取り組んで、多くの人間関係をつくってください。JCは会社と似ています。平会員から、委員長、室長、理事長へといくそれぞれの時期に部下を持つので、組織運営のよい勉強になると思います。

菊島 JCに入った動機などを順に、まず私から。JCに入って8年になりました。今年は最終年度です。会社で営業という立場から「広い世界を知った上で自分をつかみたい」という思いが強くありました。営業種の集まりのJCの中で多くの人間関係をつくりたかったし、それぞれどのような経営なのかということに关心があり入会しました。

横田 トヨタピスタの代表として平成2年に入会しました。今年は親睦委員長です。会議が深夜2時まで及ぶこともあります。いかに自分の時間を効率よく使うかということを学ぶにはいい機会だと思います。いろいろな会議に出席してさまざまなことを学ぶことができ、すばらしい組織に入ったなと感じています。

町田 トヨタホーム山梨を代表して、今回JCに仮入会しました。物事をまっすぐにとらえすぎ、視野が狭くなる傾向なので、JCという組織の中で視野を広めたいです。会社の期待を十分感じていますので、自分のためにも会社のためにも努力していきたいと思っています。



松浦 菊島部長の卒業で入会することになりました。菊島部長は営業種の方たちと交流してきましたので、価値観が建設業者特有のものではなく、大変広く感じます。そんな姿勢を見て、私自身営業に何かプラスになることがあるのではと期待しています。

菊島 新入会の町田君と松浦君に、JCでこれからどのようなことをしていきたいのか、また、仮入会研修の感想などを聞きたいですね。

町田 定例会などは、ちょっと堅いなあと感じたのですが、その後の懇親会で見方が変わりました。皆さん私より先輩の方々なのに對等に気持ちよく名刺交換してくださって非常に温かい印象を受けました。

松浦 研修でJCの活動がおぼろげながら分かってきました。事業を興すということやそのための努力が大切だと考えます。先輩が築いたものを私が引き継ぎ、それを後輩が続けていく、その中で物の見方や姿勢が少しづつ変わっていくのではないかでしょうか。

菊島 JCでの付き合いの中で、仕事は自然についてくるということを実感しました。誰かの依頼に対して一生懸命に応えてあげると、それが自然に何かの形で返ってくる。これが人間関係だと思います。町田君も松浦君も、いい人間関係をつくってください。それが自分の人格形成に必ずつながるはずです。がんばってください。

茂手木 ぜひ役員を経験してほしい。努力している人には必ず声がかかります。役員を務めると自然に組織をまとめる力がつき、会社経営にも必ず役立ちますから。

菊島 私たちも甲府JCのメンバーとして點じないように活動していきたいと思いますし、横田さん、そして町田君と松浦君には、今後もJCの一員として思う存分に活躍してください。本日はありがとうございました。

おしゃれ

さとしや



営業時間 9:30~20:30
定休日 第2・3日曜日
所在地 甲府市朝日5-6-11
TEL 0552-52-5927



たべる
竹若 (たけわか)



営業時間 17:30~23:00
定休日 日曜日
所在地 甲府市高塙2-16-9
TEL 0552-33-1220



リーズナブルなお肌のエステ 基本をしっかりとマスターして素肌美人になろう

朝日町通りの「さとしや」といえば、化粧品の豊富な品揃えや、ヘアーアクセサリーなどのおしゃれ小物の充実したお店で有名。今回の同店のおすすめは「ライトエステ」。「高価なエステを長く続けるのは大変。肌をきれいにするための正しい化粧品の使い方、お手入れの正しい方法をマスターしていただき、自宅で毎日エステをしてほしいと思います」というご主人の考え方から、1回100円という嬉しいライトエステが誕生した。自分が普段使っている化粧品を持参（お店にキープも可）して、自分で行なうので、そのまま自宅で応用できる。もちろん専門スタッフがマンツーマンでついてくれ、洗顔フォームの使用量からマッサージの仕方まで親切丁寧に教えてくれる。基本は4回。たった400円の講習であなたのお肌は一生輝くかも。

この他、本格的フェイシャルエステコース（1回3700円～）や、ブライダルエステコース（10～20回のお手入れ）などもあり。ぜひ1度お試しを！

リニューアルオープン!! 活きのいい魚と季節料理が自慢です

今年の5月中旬に甲府・上石田から移転して、リニューアルオープンしたばかりの活きのいい割烹。ご自慢の料理は、店に負けないくらい活きのいい魚だ。カウンターには、その日仕入れたばかりのツヤツヤした魚が所狭しと並んでいる。刺身で食べるのももちろんのこと、焼いても煮ても抜群の味。新鮮な魚だからこそ味わうことができる逸品だ。

もう1つの自慢は季節料理。季節の野菜胡麻あえ（700円）や、季節の野菜焼き合わせ（700円）など、四季折々の旬のものを使った一品もぜひ注文したい。家庭の暖かい味がする。

先付からはじまってデザートまでのコース料理は、4000円、5000円、6000円の3コース。地酒の春鶯囀や太冠、越後のお酒などと一緒に味わったら格別とのこと。カウンター7席、小上がり3組、8名様用の座敷が2部屋という間取りなので、カップルでもグループでも楽しめる。予約は20名まで。

甲州の野辺にて ①

「作物のぬくもり」

堀 慎吉 美術家
ほり しんきち

私は日光東照宮が嫌いだった。

いまでも嫌いだ。

たとえそれが、どれほど文化遺産であっても、権力や金の力にあかせて人の上にそびえ立つようなものは、好きになれない。

日光東照宮の過剰なまでの装飾彫刻に埋め尽くされた建築を見ると、人間の中にある始末に負えない欲望の正体を突きつけられるようで、辟易してしまう。

それにくらべて、貧しくつましい暮らしのなかで、人々が長い時間をかけて受け継ぎ、守り承じてきたものは、たとえ崩れかけた土壁でも、いとしく美しいと思う。

そうした美しいものたちに出逢いたくて、富士川ぞいの集落を訪ねた時のことであった。ふと立ち寄った大型寺で、本堂の格天井に彫られた一間一花の天井花に目がとまった。寺院などの天井や軒などを、こうした彫刻で飾るのは近世の建築様式の大きな特徴の一つで、この傾向を集大成したのが、日光東照宮である。しかし、同じ近世の様式を継承した大型寺の装飾彫刻には、日光東照宮に抱きつづけてきた印象とは違う、なにかしら私たち自身の体温に通じるものを感じられた。私は、その時はじめて、近世堂宇建築への関心を抱いたのだった。

以来、たびたびそこを訪れるうちに、関東一円に名を馳せた近世宮大工集団が、身延町下山にあったことを知った。その後、近世の堂宇建築の出自と消長の足跡をこの目で確かめてみたくなり。その様

式の発生と推進に大きな役割をはたした紀州根来（ねごろ）大工の古里、紀の川流域に足を延ばすことになった。

富士川ぞいの集落のたたずまいと、紀の川ぞいのそれとは、東と西の距離を超



葛城寺本堂正面欄間(身延町)



大聖寺(中富町)

まい。山中深くに壮大な伽藍を並べる久遠寺と高野山。富士川と紀の川は、まるで一筋の川のように私のなかで重なるのであった。

中世まで、寺社などの堂宇建築にたずさわる意匠は、貴族社会の大建築を担った法隆寺大工（奈良）や天王寺大工（大阪）などの隸られた大工集団で占められていた。こうした伝統に変化が現れるのは、15世紀中頃からのことで、紀州や播磨など畿内周縁地域に新しい地方（じかた）の宮大工集団が登場する。

彼らは、自分たちの氏神の社（やしろ）を、尊い聖獣や聖鳥、中国の聖人賢者、あるいは身近な草花などの彫刻で飾る、新しい意匠を創案した。八百万（やおよろず）の神々の靈力を迎え、宿すにふさわしい意匠をほどこそうとしたのである。

こうした意匠は、やがて下剋上の時代をのほりつめた秀吉の目にとまり、豊国廟や聚楽第という秀吉の権威を飾る建築へと剽窃され、日光東照宮へと集約されたのであった。

富士川ぞいの大型寺や慈観寺を飾る彫刻は、こうした流れの先にある。幕府などの大スポンサーからの発注が時代とともに減少し、関東一円に名を馳せた下山大工集団も、彼らの在所へと帰っていました。

耕す田畠にもこと欠く、貧しい川辺の古里で、再び土の香りをとりもどした彼らは、権力者のためにではなく、自らの暮らしと魂の救済をこめて、彼らの創造のすべてを神仏に捧げたのである。

某月某日

時の流れの速さに思考が追いつかない
新聞記事や個人の趣味への関心も
どんどん時の流れにおされてしまう

- ・豊さの裏返し、エボラ出血熱の恐怖
- ・たばこも買えない200円の楽しみ



×月×日

キンシャサハイウェイ。アフリカ大陸を横断する未舗装高速道路。俗に「エイズハイウェイ」という。第3世界の集合体とも言うべきザイールなどの中央アフリカ諸国が、その国運のすべてを賭けて建設したこの道路が、実はそれらの国々の経済破綻のきっかけを作ることになるとは誰も予想できなかっただろう。

近年、エイズをはじめ、死亡率97%という恐るべき殺人ウイルスエボラザイールや、人食いウイルスとして英国で流行したA群溶血性連鎖球菌など、未知の病原体による殺戮が頻発している。その多くは赤道直下のアフリカ熱帯雨林地域などが発生源であることが確認されている。

それにしても原因も感染経路も、治療法も確立していないこれらのウイルス達が何故こうも流行するのだろうか。

もう言い古されているが、環境か開発か、ゼロ成長か均衡ある発展か。先進国と第3世界との南北格差の問題は、いっこうに解決の糸口を見い

だせないでいる。そして、1日にアマゾンなどでは東京ドーム数個分の熱帯雨林が消滅しているという。

第3世界の国々が経済成長を優先し、自然環境を破壊することを誰が止められるか。先進国にはからずも居住する我々が、自然保護を声高に叫ぶことは大国エゴにならないだろうか。彼らに貧困のままでいよと命令できるものは誰もいない。

アフリカを中央に横断するキンシャサハイウェイ。彼の国々が経済成長の大動脈として期待をかけたこの道路によって、熱帯雨林から運ばれた多くの殺人ウイルス達。HIVエイズウイルス、エボラ出血熱ウイルス。

爆発的な速度で熱帯雨林を伐採し、都市化していくアフリカ。切り倒された荒地に造られた道路を、HIVやエボラウイルスを抱えた人々が行き来する。今回のエボラ出血熱は、こういった人間の飽くなきエゴに対する自然からの警告に思えてならない。

×月×日

今春より宝くじ売り場にお目見え

した『NUMBERS』。3桁の数字を当てる『ナンバーズ3』と4桁の数字を当てる『ナンバーズ4』がある。数字は全て自分で選ぶことができ、買い方もストレート、ボックス、セット、ミニ、クイックと多種多様だ。

マークシートがうけたのか、ジャンボ宝くじを買う人を尻目に、なかなかの人気である。単に確率だけの問題なら、数学学者かスーパーコンピュータを持っている人が当たるに決まっているのだろうが、現実にはそうはいかないところに面白みがある。かくゆう私も興味をそそられている一人。

さて、すでに巷間にはその攻略方法(?)を探求する熱心なファンもある。聞くと、「購入する約半数近くの人は数字を選ぶ時、誕生日や記念日といった日にちで買うので、当然1・2・3・0が多く買われることになる。つまりこれらの数字の組み合わせでは配当金は下がる」という訳だ。確率が同じなら期待値を上げて、日々では買えない数字での勝負を基本に…と考えたが、やはり買う側の論理か。

[文：新海 翠]